

平成25年度SSHニュース 岡山理科大学附属高校 No.4

SSH講演会・研修会 2013年5月17日

高校2年生で課題研究を始めるに当たり研究の取り組み方について講演により指導してもらいました。また、教員研修として「新教育課程に活かすW型問題解決モデルの活用について」の講演会も実施しました。

講師：国立教育政策研究所 五島政一 先生

日時：2013年5月17日

対象：高校2年生SSH選択者29名、15:30-16:20
教職員 約100名、16:50-18:00

1. 講演内容

「W型問題解決モデル(図1)による課題研究の取り組み方」観察実験でデータを集めよう。多面的な思考(図2)をしよう。自然を全体的にとらえる立場に立った自然科学をしよう。学習のプロセスを類型化することで、探求活動を分析的に評価したり、足りない点などの課題に気づきましょう(図3)。

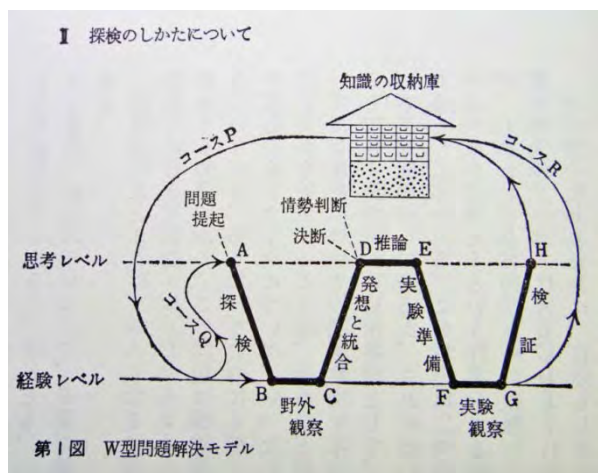


図1. W型問題解決モデル



図2. 一つのペットボトル、多面的にとらえると…



図3. 課題研究の取り組みを、W型問題解決モデルに類型化する方法を指導してくれました。

2. 生徒の感想

- とても熱い先生だったのでW型の重要性がよく分かった。
- 話が熱すぎて眠気が吹っ飛んだ。
- 次から課題研究のとき、W型のどこをするのか、確認しようと思った。
- フィールドワークをすることは、研究するためには大事なことだと分かった。
- 子どもの頃に山で遊んだことが、勉強に活かされることが分かった。
- 課題研究のプロセスや調査方法の工夫が分かりました。また、聴きたいと思いました。



図4. 講演後に積極的な質問がいくつもありません。